

小城市立歴史資料館 中林梧竹記念館だより



～展示会開催のお知らせ～

平成27年度 第1期 中林梧竹記念館収蔵品展 「学びの書」

◆会期 ～7月12日(日)

◆場所 中林梧竹記念館 常設展示室

中林梧竹記念館で収蔵している作品、資料など約500点の中から毎回40点程度展示し、およそ3か月ごとに掛替えを行っています。



▲梧竹書 二曲屏風

今回は、梧竹の学ぶ姿勢がうかがえる作品を紹介します。

テーマ展

「土生遺跡出土踏鋤展」

◆会期 4月28日(火)～5月31日(日)

◆会場 歴史資料館 常設展示室内

弥生時代の日本列島と朝鮮半島との交流を示す重要資料として、佐賀県重要文化財の指定候補に挙がっている「土生遺跡出土踏鋤」を展示します。



「戦時資料を探しています」

歴史資料館では、戦後70年を迎えるにあたり今年の7月から8月にかけて、戦時資料の展示を計画しています。

皆さんのお宅にある戦時中の手紙、日記、手記、勲章、写真など戦時に関わる資料で心当たりのある方は、ご連絡ください。担当職員が確認に伺います。

※開館時間 9時～17時 ※休館日 毎週月曜日・祝日

【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 永田・田久保 ☎71・1132

小城市ホームページから

Facebook

～お知らせ～

「佐々木盛行氏・日野俊顕氏中林梧竹 研究報告書」を刊行しました

中林梧竹記念館では、梧竹研究家の故佐々木盛行氏、故日野俊顕氏のご遺族から、中林梧竹研究資料を譲り受け、整理を行ってきました。

平成23年度からは検討委員会を立ち上げ、6人の委員から助言を受けながら、内容の検討を行い、平成26年度に報告書を刊行しました。

全118ページで論考編35ページに報告6編、目録編73ページに研究資料約3,800項目を掲載しています。



「祥光山星巖寺」を小城市史跡に 指定しました

祥光山星巖寺は小城鍋島家の菩提寺で黄檗宗の寺院です。山号と寺名は初代藩主鍋島元茂および2代直能の法名に由来します。2代直能が初代元茂の菩提を弔うため貞享元年(1684年)に発願し、3代元武が元禄3年(1690年)に潮音道海禅師を開山として建立しました。

現在は境内に楼門、報恩堂、回廊、五百羅漢像、歴代住職墓碑などが残っています。また、境内奥の墓所には歴代藩主の墓碑や御霊屋が整然と祀られています。小城鍋島家の菩提寺として歴史的に重要な場所であり、近世以降の小城の成り立ちを知る上で極めて貴重な史跡です。



▲祥光山星巖寺(報恩堂)